

--- 増刊 ALGO-REPORT ---

vol.1 100%活かす？希学園

◆エリート意識をつくる独自の雰囲気◆

希学園は「多数精鋭」を旗印に、ハイレベルの講義を30名～40名のクラスで実施しています。講師陣は分裂前の浜学園でトップクラスであった講師が中心ということになっていて、高い指導力のイメージが定着しています。

希学園へ通う最大のメリットは、そのイメージにあり、在籍するだけで「自分はエリートだ」「他とは違うんだ」という気にさせる独特の雰囲気を持っています。これにうまく乗り、尚且つ、才を持ったお子さまであれば、自学自習の習慣や探究心・自立心が大きく育ち、自らやる気を創出し、伸びていく可能性を秘めています。

◆希学園生の3つの問題点◆

①最レ・前期日特・居残り学習に振り回される！

「居残り学習」を本当の意味で活用できているお子さまは少ないようです。宿題の消化用という認識が大勢を占めていますが、上位クラスの一部以外では、学習できる環境にならないこともしばしばあるとのこと。保護者の方にはそのあたりが見え難いため、実際は学習できていないのに、捗っているとの思い込みがあり、「気づいた時には時間を無駄にしてしまった」というお声をよく聞きます。この点に関しては、丸預けにせず、常に、お子さまからしっかりと情報収集をなさるべきでしょう。

前期日特・最レなどのオプション講座は、「塾側から強要されてしまった」と感じてしまうことが往々にしてあるようです。学習の状況に応じて取捨選択しようにも、チューターとの懇談で受講しないと合格できないように感じ、結局、無理をして色々な講座に手を出してしまうという方を多くお見受けします。お子さまに無理をさせないためにも、チューターとはしっかり話し合うことを、本当にお薦めします。

②家庭学習のため、極端に睡眠時間を削る！

算数は講義を真面目に聞いても、宿題には手も足も出ない問題が混じっていることが、ままあります。また、社会・理科はポイントを簡潔にまとめた内容となっている反面、情報量に不足が感じられます。結局、自分で参考書などを見て補わなければならないのですが、その時間

を確保することが難しい時間割(各講習会も同様)となっています。6年生は連日5時～10時近くまで拘束されるので、一週間の学習プランをしっかり立てていないと、気が付いたら、何から手をつけてよいのかわからないということにもなりかねません。希学園生には、学習内容の取捨選択と時間管理の徹底が特に求められます。

③本当の目的を見失う！

競争原理をトコトン活用している塾なので、目先の復テのベストをとることや、公開テストだけのために公開の過去問を必死に消化するなど、同じ学習とはいえ、本来の目的(自分の志望校合格)から矛先の違うところへ力を注いでしまいがちです。活用によっては絶大な力を発揮するはずの復テ・公開のせいで、お子さまや保護者の方がどんどん別の方向へ走り出すというようなことがないように、ご自身の行動目的をいつも明確化しておくことが大切です。

また、受験を強く意識し始める6年生の2学期には、スーパーエリート塾と謳う以上、ある程度しかたがないかもしれませんが、お子さまたちの中で「灘」が極端にクローズアップされてきます。このことで、他校志望者や女子生徒に少し動揺が生まれるかもしれません。

◆希学園生の保護者の方のご質問TOP3◆

- ①復テ対策として過去の復テを手に入れたほうがよいですか？
- ②チューターがうちの子は大丈夫というのですが、どうもそんな気がしないのですが？
- ③どの授業の宿題を優先したらいいのか教えてください？

一つでも思い当たることがあれば、必ず対策を立てましょう。

光陰矢の如し…一度失った時間は取り戻すことができません。その価値は途方もなく貴重です。

困ったときはALGOです
お気軽にお問い合わせ下さい！
TEL…075-221-5101
E-mail…manabi@algo-seed.jp
<http://algo-seed.jp/>

▼次号は日能研の問題点を特集します▼